

かんどこ 神床家文書について

神床家は但馬国一宮出石神社の祭神あめのひぼこのみこと天日槍命いとのみやつこの末裔系井造の系譜を引く旧家です。

代々出石神社社家の筆頭として神社の祭祀を担い、中世には但馬国の守護山名家の家臣として名を留めています。

近世以降は神社の鎮座する宮内村を含めたしものごう下郷東組に属する15の村々を統括する大庄屋の家でした。

神床家の所蔵する中世文書は、豊岡市指定文化財となっています。豊岡市立図書館のデジタルライブラリーでは、2022年に豊岡市立歴史博物館が寄贈を受けた近世・近代文書を、整理が済んだ順に紹介していく予定です。

今回公開したのは、江戸初期の元和6（1620）年に書かれた「宮内村桑茶柿山椒漆栗柚共改帳」他2冊です。この改帳には、養父市の特産で知られる朝倉山椒が、既に通常ただの山椒と区別されて栽培されていたこと、現在は栽培されていない漆の木が植えられていたこと、それらの等級や持ち主が書かれています。

【問い合わせ先】

豊岡市観光文化部文化・スポーツ振興課文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

TEL：0796-21-9012 FAX：0796-42-6112

E-mail：bunkazai@city.toyooka.lg.jp